

## 当院における医療従事者の新型コロナウイルス感染症について

### －第2報－

令和2年6月30日 当院の医療従事者1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。濃厚接触のあった入院患者19名、医療従事者12名に対して、7月1日に新型コロナウイルスに対する遺伝子増幅検査(LAMP法)を実施いたしましたが、全員の陰性を確認いたしました。

職員の入職時や新型コロナウイルスに曝露した可能性のある場合には、その都度PCR法、LAMP法等の検査を実施して感染の有無を確認してまいりましたが、これまで延べ148回の検査で陽性となった職員はおりませんでした。また、新型コロナウイルス感染症患者に対応してきた医師、看護師、放射線技師、臨床工学士等を中心に194名を対象として、6月15-18日にかけて抗体検査を実施いたしましたが、全員において陰性を確認しております。

これまでの当院での調査結果からは、院内感染が起きている可能性は低いと判断しております。今回の職員の感染経路として院外・市中感染の可能性については、保健所の疫学調査の結果が判明次第ご報告申し上げます。

現在、この職員が担当した病棟への新規入院は停止しておりますが、それ以外の病棟への入院、外来、手術、検査等はこれまで通りに実施しております。

皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解下さいますようお願い申し上げます。

令和2年7月2日  
防衛医科大学校病院  
病院長 浅野 友彦